慶應・延世・香港 東アジアリーダーシッププログラム

慶應・延世・香港 東アジアリーダーシッププログラム（通称3キャンパスプログラム）は、交換留学の中でも非常に珍しい、3大学（延世大学、香港大学、慶應義塾大学）が協力して実施するプログラムです。1年をかけて3つの大学を巡りながら英語による講義を受講し、参加者と共同生活を送ることで、東アジア地域に関する理解を深めることを目的としています。3大学の学生のほかに、パートナー大学（プリンストン大学、ジョージタウン大学、コーネル大学、南カリフォルニア大学、キングス・カレッジ・ロンドン、ジュネーブ大学）から選抜された学生も一部参加します。

ここが魅力！

- 東アジアのみならず、**欧米のトップスクールの学生**とも緊密なネットワークを構築できる
- **授業およびプログラム参加者の共通言語は英語**なので、英語力が自ずと高められる
- 一定の受給資格を満たしていれば、日本学生支援機構（JASSO）による**給付型奨学金（月額70,000円×6ヵ月）**が支給される可能性が高い
- 実際の**国外留学期間は2月下旬～8月下旬の約半年間**のため、丸1年留学するのは時間的にも費用的にも厳しい…という方にぴったり

1年間のプログラムの流れ

同じ興味や関心を持つ留学生と1年をかけて3つのキャンパスで学びながら、フィールドトリップやグループワークも共に行うため、深い絆が生まれます。他の人とは違った留学経験になること、間違いなしです！

1 慶應義塾大学（三田キャンパス） 9月～2月上旬

- オープニングセレモニー
- 国際センター設置の英語による科目を履修
- 東京近郊へのフィールドトリップ

2 延世大学（ソウル） 2月下旬～6月

- Underwood International College 設置の英語による科目を履修
- Jeonju（全州）などへのフィールドトリップ

3 香港大学（香港） 6月～8月下旬

- HKU summer courses より科目を履修
- クロージングセレモニー

Student Voice

アジア地域に英語を使って留学できる点に惹かれ、3キャンパスプログラムを志望しました。プログラムの参加者はアジアに限らず欧米の学生もいるため、世界各国の優秀な学生と共に東アジアについて包括的に学ぶことのできる貴重な経験になりました。また韓国への留学時には既に仲間がいたため、不安なく渡航することができ大変心強かったです。1年間で3ヵ国を回ることで世界中にかけがえのない仲間ができ、自分の視野を広げられる大変魅力的なプログラムです！

2021-2022派遣生　商学部 商学科　大野夏実

東アジアについて複数ヵ国で学ぶことができる点に惹かれ、3キャンパスプログラムを志望しました。実際に、自国の文化の発信と他国の文化の吸収の両方を経験することで視野が広がったと感じています。また、1年間行動を共にする世界各国からの留学生仲間がいる点も、他プログラムとの大きな違いです。韓国に留学する時点で既に仲間がいるということは、想像以上に心強く感じました。プログラムの参加者と留学先で出会う仲間、さまざまな形での出会いがあり、常に刺激を受けながら世界中に人脈ができる、非常に魅力的なプログラムだと思います！

2019-2020派遣生　法学部 政治学科　日山絢子

留学体験記

こんなに異国を好きになれるなんて！

キャンパスで撮った写真▶

相葉 瑠奈　総合政策学部（2023年3月卒業）

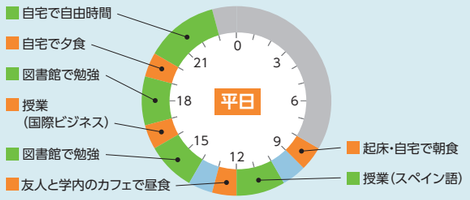
モンテレイ工科大学　（メキシコ）

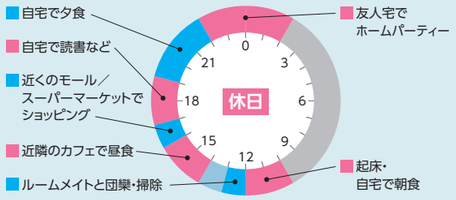
交換留学	派遣時学年 4年	遡及進級の有無およびその理由	遡及進級を ☐した ☑しなかった
留学期間	2021年8月～2022年8月		4学年での交換留学は一般的ではないものの、パンデミックの影響で例外的に認められた。そのため在学期間を5年に延ばし交換留学をすることしか選択肢になかった。

留学を志したきっかけ・その国、大学を選んだ理由・留学までの準備

メキシコへの留学を決めた理由は主に2つあります。1つめは、もともと女性の社会進出に興味があり、近年女性国会議員の割合が著しく伸びている国の一つがメキシコということを知って、どんな変化が現地で起きているのか知りたかったからです。2つめは、留学前にラテンアメリカの国々を放浪した際、その風土が好きになり、もっとラテンアメリカの人々と文化を知りたいと感じたためです。
スペイン語の履修経験はありましたが、パンデミックのため留学を半ば諦め履修を中止していました。そのため、スペイン語の文法の基礎だけ理解している状態で留学に臨みました。

ある一日のスケジュール





実際の留学生活について

モンテレイ工科大学は、「工科大学」ではあるものの、Computer science、Engineering、Business、Designとさまざまな学問分野の優秀な学生が集まっているメキシコの私立トップ大学です。そのため、交換留学生として、さまざまな授業を取ることができ、多様な学生と出会うことができました。今回私はメインのモンテレイのキャンパスに通いましたが、施設は非常にきれいで使いやすく、学内にはたくさんのカフェもあり、学習環境としては最適な空間でした。
メキシコの魅力はなんといっても、「人」です。メキシコ人はおおらかで明るい性格の人が多く、なじむのにはあまり苦労しませんでした。「友だちの友だちは友だち」は当たり前で、ルームメイトのメキシコ人と一緒にパーティーを企画したり、ご飯を毎日一緒に食べたり、映画を見てメキシコ社会に関する議論をしたり、一つ一つがとても楽しかったです。
しかし、やはり語学力の面では苦労しました。自分を優しく受け入れてくれるメキシコ人が目の前にいるのにも関わらず、自分はジョークや会話内容を理解できず、周りと同じように楽しめなかったことがとても辛く、できない自分に苛立ち、楽しい雰囲気を壊してしまってメキシコ人に対して申し訳ない気持ちになりました。また、メキシコ社会の構造も日本社会のそれとは多面的に異なっており、公共サービスの不便さなどに関して苦労することもありました。
留学生活全体を通じて、世界は広くいろいろな生き方があるということを体感できたことが留学によって得た最も大切なものだと思います。留学にいく前と後では、自分が他者に対してより寛容に、柔軟になったと感じます。
卒業後は、メキシコにある日本の貿易会社で勤務する予定です。主な理由としては、メキシコの文化が肌に合ったこと、よりスペイン語力を伸ばし、現地で実際に働くことでよりメキシコ社会への理解を深めたいと感じたためです。

▲留学生の友人と登った山

▲死者の日

後輩へのアドバイス

メキシコというと「危ない」といったネガティブなイメージが浮かぶかもしれません。しかし、いつもそこで暮らす人々がいます。少しでも興味を持った国があれば、想像力を悪い方向に働かせず、挑戦してみることをお勧めします！

「今を楽しむ」重要性を学んだ経験

学内サッカーイベントに友人を集めて参加▶

八木 祐輔

法学部 政治学科
（2023年3月卒業）

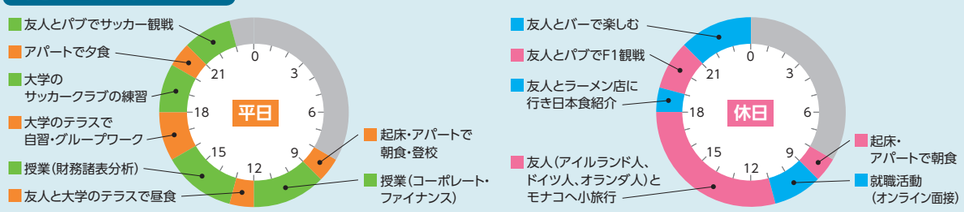
EDHEC経営大学院 （フランス）

交換留学	派遣時学年 3年	遡及進級の有無およびその理由	遡及進級を ☑した ☐しなかった
留学期間	2021年8月～2022年5月		留学後の夏期休校期間中に就職先が決まり、卒業単位も取得見込みがあったため。

留学を志したきっかけ・その国、大学を選んだ理由・留学までの準備

父親の仕事の関係で海外在住歴があり、将来はグローバルな仕事がしたいと考えていたものの、中学生以来グローバルな経験ができていなかったため、社会人になる前に今度は自分の力で国際的感覚を養いたいと考え、交換留学を志望しました。最先端の環境が整う欧州のビジネスに強い大学で学びたいと考えていた中、英語で授業を受けられ、地中海沿岸随一のリゾート地に位置する当大学を選びました。留学前は派遣先大学から送られてくる案内に従い、漏れなく、素早く手続き（履修科目登録、アパート予約等）を進めるよう心がけました。また、資格取得や長期インターンシップを通して留学時の学習内容に対する先取りを行い、コロナウイルスの影響で留学中止の可能性もあったので、就職活動も始めていました。

ある一日のスケジュール



実際の留学生活について

ニースはパリに次ぐフランス第2の観光地で、フランスとイタリアの文化が混じった地中海沿岸の街です。少し足を運べばモナコやカンヌ等魅力的な街が多くあり、コートダジュールのきれいなビーチや海鮮料理を堪能できます。大学は商業系の名門グランゼコールの一つで欧州でもトップクラスのビジネススクールであり、主に他欧州地域から派遣されてきた留学生とともに、多様性のある環境下で学ぶことができました。
ビジネススクールということもあり講義よりもアウトプット重視の授業が多かった印象で、間違うことを恐れず、積極的に発言する学生が多かったです。さまざまなバックグラウンドを持った学生とのディスカッションを通して新たな知見を得ることで、自分の視野が確実に広がったと実感しています。また、専門用語が多く、かつ、それらを英語で学ぶため、テスト前は睡眠不足に陥ることもありましたが、「英語でビジネスを学ぶ」ということに関して慣れる経験ができました。
課外活動としては、セレクションを経て大学のサッカークラブに加入。授業では関わることのできなかった現地フランス人学生とフランス全土のビジネススクールが参戦する大会に参加しプレーすることで、交流の輪を広げました。
学業以外では、フラっとサッカー場に行き現地人とプレーする、ビーチに行き泳いだりビールを飲んだりする、友人の家に行きプールに入ったりゲームで遊んだりする、旧市街に繰り出してパブやバーに行くなどして、充実した時間を過ごしました。外国人の友人は皆フレンドリーで日本に興味を持っている人が多く、日本の良さも再認識することができました。
卒業後は外資系金融機関に就職し、企業の合併・買収、資金調達の支援に携わる予定です。特に、留学で得た「国際的感覚」および「ビジネスに関する知識」を存分に活かせられる環境であると考えています。留学中の初めての一人暮らしを通して自己管理する経験ができましたし、あらゆる面で自分の視野を広げられた経験を基に、今後も励んでいきたいです。

▲大学のサッカークラブ

▲学期末の打ち上げ

▲旧市街のバーでの集まり

後輩へのアドバイス

明確な留学の目的を持ったうえで学業・課外活動・遊びを上手く両立させ、貴重な留学生活をおもいっきり楽しんでください。
派遣先の友人と積極的に交流することで、「世界中に一生の友人がいる」という豊かな経験ができると思います。

人生を変えたかけがえのない経験

友人とD.C.の桜鑑賞▶

吉澤 有紗

法学部 政治学科
（2022年9月卒業）

ジョージタウン大学 （米国）

交換留学	派遣時学年 4年	遡及進級の有無およびその理由	遡及進級を ☐した ☑しなかった
留学期間	2021年8月～2022年5月		既に大学卒業の単位数を満たしたうえで、留学したため。

留学を志したきっかけ・その国、大学を選んだ理由・留学までの準備

高校時代、模擬国連の活動を通じて国際政治に関心を抱き、大学では交換留学に挑戦したいと漠然と考えていました。大学の授業を受ける中でその政治的影響力の大きさを認識し、アメリカに留学しようと決めました。特に、ジョージタウン大学は政治学の分野で評価の高い大学であるため、第一志望に選択しました。準備としては、入学直後からGPAの維持に力を入れました。なぜなら、成績は出願直前に急いで対処できるものではないためです。また、自分の興味分野を探るために授業の履修は幅広く行っていました。そして、志望先大学を考えるうえでは、各協定校のシラバスや過去に留学された方の留学報告書を確認するなど、リサーチも積極的に行いました。

ある一日のスケジュール

実際の留学生活について

ジョージタウン大学の魅力は、政治に関心のある学生にさまざまな機会が提供されている点です。アメリカの政治の中心地ワシントンD.C.に位置していることから、著名な政治家の講演会がキャンパスで開催され、授業で裁判所の見学に行くこともあり、教室の外でも刺激を受けることが多いです。また、大学はワシントンD.C.の中心からバスで20分ほどの住宅街の先にあるため、都会に出やすいながら治安は良いです。
留学先で楽しかったことは、アメリカ人のみならず他国の交換留学生とも仲良くなれたことです。私は多くの留学生が住む学生寮に住んでいたため、フロアの勉強部屋やキッチンで一緒になることが多く、一緒に旅行にも行きました。ルームメイトとも親しくなったため、友達作りに苦労することなく毎日楽しく過ごすことができました。夜遅くまで話が盛り上がったことも、数えきれないほどあります。現在でも、ビデオ通話を通し交流が続いていることはとても嬉しいです。
苦労したことは、やはり勉強についていくことでした。アメリカの授業では予習が重要とされているため、膨大な量のリーディングに日々苦戦していました。しかし、友達と一緒に勉強し支え合うことで乗り越えることができました。また、理解できない点については授業時間外に教授に質問に行き解決できたため、学習環境はとても充実していました。
留学先での経験は、法曹を目指すきっかけを私に与えてくれました。アメリカの司法制度の問題点を学ぶ授業では、過去に収監されていた方の話も聞きながら、社会的に立場の弱い人々が不当に裁かれる現状を知り衝撃を受けました。現地の刑務所を訪れ収監されている方と話をする機会を通し、私は人権保障を担う弁護士になりたいと決意しました。留学前は報道の仕事に関心を持っていましたが、留学先での経験はこのように私の進路に大きな影響を与えました。4月からは日本の法科大学院で目標に向かい勉強を続ける予定です。

▲大学のマスコット犬「ジャック」

▲ルームメイトとハロウィンの装飾

後輩へのアドバイス

私はコロナの影響で留学に2度挑戦しました。卒業時期を延ばすか決断を迫られましたが、今は本当に留学して良かったと思います。少しでも興味のある方は、ぜひ挑戦してみてください。応援しています！

2019～2021年度　派遣交換留学生　卒業後進路一覧

就職先	人数
PwCコンサルティング合同会社	21
アクセンチュア株式会社	16
三井物産株式会社	12
株式会社三菱UFJ銀行	10
EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	10
株式会社みずほ銀行	7
デロイトトーマツコンサルティング合同会社	7
ソフトバンク株式会社	6
シティグループ証券株式会社	6
楽天グループ株式会社	5
株式会社三井住友銀行	5
野村證券株式会社	5
日本アイ・ビー・エム株式会社	5
PwCあらた有限責任監査法人	5
P&Gジャパン合同会社	5
三菱重工業株式会社	4
みずほ証券株式会社	4
丸紅株式会社	4
株式会社ファーストリテイリング	4
株式会社野村総合研究所	4
日本航空株式会社	4
日本放送協会	4
大和証券株式会社	4
住友商事株式会社	4
ゴールドマン・サックス証券株式会社	4
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	4
KPMGコンサルティング株式会社	4
JPモルガン証券株式会社	4
楽天株式会社	3
有限責任監査法人トーマツ	3
三井住友信託銀行株式会社	3
富士フイルム株式会社	3
株式会社博報堂	3
株式会社日本政策投資銀行	3
東京海上日動火災保険株式会社	3
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザリー合同会社	3
慶應義塾	3

就職先	人数
外務省	3
伊藤忠商事株式会社	3
アマゾンジャパン合同会社	3
アビームコンサルティング株式会社	3
その他の就職先 株式会社読売新聞東京本社 森ビル株式会社 メリルリンチ日本証券株式会社 三菱商事株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 三井化学株式会社 マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン 弁護士法人アンダーソン・毛利・友常法律事務所 富士通株式会社 フィリップ・モリス・ジャパン合同会社 株式会社日立製作所 日本郵船株式会社 日本マイクロソフト株式会社 日本銀行 日本オラクル株式会社 日産自動車株式会社 内閣府 独立行政法人日本貿易振興機構 独立行政法人国際協力機構 東宝株式会社 東急株式会社 株式会社電通 デロイトトーマツ税理士法人 ソニー株式会社 双日株式会社 株式会社国際協力銀行 グーグル合同会社 UBS証券株式会社 A.T.カーニー株式会社 リシュモンジャパン株式会社 モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社 明治安田生命保険相互会社 本田技研工業株式会社 ボッシュ株式会社 防衛省　等	
国外就職	1

進路形態	人数
就職（正規雇用）	437
大学院進学	60
専門学校・外国の学校等への進学	19
その他	38
進路届未提出	18
総計	**572**

※2018～2021年度派遣交換留学生のうち、2019～2021年度に卒業・修了した者を集計対象としている。
※各年度5月1日現在の本人からの届け出による。
※就職は進学就職（進学と就職のどちらにも当てはまる場合）を含む。
※慶應義塾大学卒業生全体の進路状況については、下記のWebサイトにて確認できます。

https://www.students.keio.ac.jp/com/career/service/date.html

派遣交換留学生　就職活動記

迷った時は行雲流水

カナダを発つ前日に▶
友人と集まって

就職先　**三菱地所株式会社**

太田 花織　法学部 政治学科（派遣時3年 2023年3月卒業）

留学期間　2021年9月～2022年4月
派遣先大学　クイーンズ大学（カナダ）
遡及進級の有無およびその理由　遡及進級を ☑した ☐しなかった
大学を必ず4年で卒業したかったため

いつ就職活動を始めましたか 留学中に就職活動をしましたか	就職活動自体は3年生の渡航直前から始めました。渡航準備で忙しかったためサマーインターンには一切応募しませんでしたが、代わりに自己分析に時間を割きました。9月からはボスキャリにも参加しました。ボスキャリでは1社から最終への案内をいただけましたが、最終面接は帰国後ということだったので、2、3月からの国内選考にも数十社参加しました。
内定はいつ頃もらいましたか	最も早かった内定は4年生の4月で、最終的に就職先に選んだ企業からは国内本選考で4年生の6月にいただきました。
留学がもたらした就職活動への良い影響を教えてください	日本企業の多くはグローバルに活躍できる人材を求めているので、海外経験があることは企業側からも好印象を持ってもらいやすかったです。また、自分で何かに対して疑問・学習意欲を持って行動に移し、挑戦するという交換留学に対するアクションそのものがガクチカにもつながりました。
留学が就職に不利に働いたと思った点はありますか。またそれをどのように克服しましたか	ほとんどの面接がオンラインだったことはありがたかったですが、時差やスケジュールの調整には苦労しました。企業側も時間を割いてくださっているのでこちらの都合を押し付けることもできず、深夜にスーツを着て面接を受けることは何度もありました。就職先とは別の会社ですが、4日間のオンライン冬季インターンに参加した時は留学先大学の授業や課題がありながらも完全に昼夜逆転生活をする必要があり、かなり大変でした。 また3月は多くの会社がESの締め切りを設けているので、留学先の期末試験／レポートと両立させるのはとても辛かったです。友人とのパーティーや遊びにも参加しづらい時期でした。

留学して初めて真正面から「異文化」に出合いました。日本にいる時から「多様性社会を認めよう・異文化を受容しよう・違いを認めよう」という趣旨の教育や環境にいましたが、実際に海外に出てみると、それはこんなにも難しいことなのかと身をもって知ることができました。自分が絶対に譲れないところと異文化を理解するために理解を示すべきところの折衷点の見つけ方、自分の人格やこれまでの生き方を否定されてしまうようなカルチャーショック、さまざまなことがありましたが、壁にぶつかったからこそ、就職活動でもそれらが活きたと思っています。
辛い思いもたくさんしましたが、今まで自分が「絶対にあり得ない!」と思い込んでいた事柄に対して「そういう考えもありかも」という柔軟性を身につけることができたのは、就職活動に限らず人生の視野を広げてくれたと思います。

▲寮の友人とモントリオールに旅行

▲−30℃まで下がるキングストンで、大雪が降った日に友人とかまくらを造ろうと奮闘

▲寮でのハロウィーンパーティーでの1コマ

後輩へのアドバイス

留学を迷う理由に、遡及進級や就活への不安が挙げられるのであれば、迷いを捨てて挑戦してほしいと思っています。私は大学入学前に1年浪人しているため、どうしても4年間で卒業したいという思いが強く、とても悩みました。しかし振り返ってみれば、留学で培ったものは確実に私の糧となり自信となったため、留学があってこそ就活を納得のいく形で終えられたと実感しています。また、私のように焦って就活をせずとも留学期間を100%満喫してから万全の状態で就活に臨むのも正しい選択だと思います。どんな選択をしても後悔することはありますが、何が正しいかは他人との比較ではなく自分で決めることですし、未来のことはいくら心配しても解決しません。今の自分がどうしたいか、という軸を大事にしてほしいです。

派遣交換留学生　就職活動記

試行錯誤の先に大きな成長を

留学最終日に友人たちと共に▶

就職先　**損害保険ジャパン株式会社**

名島 玄起　法学部 法律学科（派遣時3年 2023年3月卒業）

留学期間　2021年9月～2022年6月

派遣先大学　バーミンガム大学（英国）

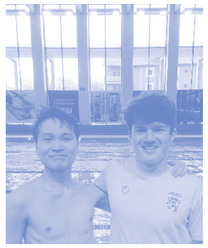
遡及進級の有無およびその理由　遡及進級を ☑した ☐しなかった

23卒として内定をいただき、卒業を遅らせる理由がなかったため

いつ就職活動を始めましたか 留学中に就職活動をしましたか	留学渡航前の3年次6月からサマーインターンシップ等に応募していました。留学中はボストンキャリアフォーラム（2021年度はコロナ禍のためオンライン開催）に精力的に参加し、選考の場数を踏んでいました。また、時差的に無理のない範囲でオンラインによるOB訪問やセミナー参加等をしました。
内定はいつ頃もらいましたか	2022年6月
留学がもたらした就職活動への良い影響を教えてください	①自分のペースで就職活動を行うことができた 日本にいると友人の就活状況や内定報告を耳にしますが、日本から遠く離れているからこそ、周囲に影響されず就活に取り組めました。確かに、異国の地で日本人1人で就活するには孤独や不安が伴います。しかし、留学生活がそうしたマイナスな気持ちを中和してくれました。根詰めがちな性格の私は、就活だけに全力投球ではなく、学業や水泳部活動、英国各地や欧州各国への旅行といった留学ならではの経験にも多くの時間を当て、良い塩梅で就活と両立させました。留学中だからこそ、他者と比較せず、良いメンタルバランスを保ちながら自分のペースで就活に取り組めたと思います。 ②グローバルな視点で業界&企業分析をできるようになった 海外で企業に関するニュース報道や広告を見ると、世界規模のビジネスマーケットを実感できます。特に、英国にはロンドンという世界有数の大都市があるため、日系企業を含めて世界中のさまざまな企業活動を目にできました。そうして関心を持った業界や企業について調べる中、海外のマーケットにも意識が向くようになり、日本に限らず海外でのビジネスチャンスを含めて業界&企業分析を行うことができました。グローバルな視点を実体験を交えてアピールできたことは、他の就活生との差別化につながったと思います。
留学が就職に不利に働いたと思った点はありますか。またそれをどのように克服しましたか	①日本国内本選考への参加（ボスキャリ経由ではない選考のことです） コロナ禍ではありましたが、ウィズコロナが浸透したことで、テストセンター受験や選考の中盤以降（二次面接や最終面接）を日本で行う企業が多く、スケジュール交渉に苦労しました。選考辞退のケースを少しでも減らすために、6月に留学から帰国する旨をできるだけ早く企業側に伝えて相談していました。私の場合、幸いにも志望度の高い企業は日程変更やオンライン面接・監視型Webテストという形式で対応していただきましたが、中には選考辞退を余儀なくされたケースもありました。近年は通年採用や留学生向けに夏・秋採用を実施する企業も多いので志望企業の採用スケジュールは要確認です。 ②インターンシップ参加 授業期間外となる1～2月にかけて、オンラインにて、半日型の単発インターンに複数参加しました。オンライン実施であっても、時差の関係で参加が難しいインターンシップが多くありました。インターンシップに参加し良いパフォーマンスを残すことは、志望度の高さや実力を証明する絶好の機会であり就活のうえでは非常に重要なため、国内学生に比べて不利な状況に当初は焦りや不安を感じましたが、制約がある中でも自分のできる範囲でやれることはやり尽くそうと気持ちを切り替えて行動しました。具体的には、オンライン上でのセミナーや説明会の参加、OB訪問を積極的に行い、企業の方とコンタクトを取っていました。

2021-22の交換留学は、コロナ禍の影響で渡航が絶望的な状況から急遽渡航可能になるというイレギュラーな形でしたが、一生の財産となる経験を得ました。ただ、振り返ると、楽しかったこと以上に苦労したことも多かったです。特に留学後半の3月～5月は①本選考エントリー②期末レポート③水泳部の試合と練習のピークが重なり、精神的にも体力的にもキツいタフな期間でした。また、言語や文化の壁に悩んだことはもちろんですが、トラブルも頻発しました。入国後隔離期間に必須のコロナ検査キットの不着、スマホとパソコンの同時故障、寮のドアが壊れて深夜3時にルームメイトが浴室に閉じ込められるなどの事故もありました…。しかし、どんな状況でも冷静に対応することで最終的には解決に至りました。困った時には、大学のサポートセンターの方や仲間が駆けつけてくれ、サポートの手を差し伸べてくれました。私の留学という挑戦は、こうしたサポート体制があり安心できる環境があったからこそ完遂できたものです。こうして異国の地で留学生活を送る中、感謝の気持ちと同時に、今度は私が「日本に限らずグローバルな舞台で、挑戦者を後押ししたい」という思いが芽生えて来ました。留学は自分自身を成長させ、自身の将来の可能性を広げる貴重な機会になりました。英国での留学経験を糧に、次は社会人という責任ある立場で私自身挑戦を重ね、人々を支えていきます。

▲大学のシンボル"Old Joe"



▲水泳部で切磋琢磨し合った仲間

後輩へのアドバイス

「トライアル・アンド・エラー」を多く経験してください！留学生活は楽しいことばかりではなく、言葉と文化の壁を感じて悩む時やトラブル続きで精神的にしんどい時もあります。留学は多くの方にとって大学生活の大きな挑戦だと思いますが、異国の地でどんな状況でも目の前のことに試行錯誤しながら向き合う経験こそが自分を成長させ、就活に活きるのはもちろん、その後の人生の財産にもなると思います。

派遣交換留学生　大学院受験体験記

新たな環境から見つけるひらめき

自然史博物館の▶
アイススケートリンクにて

受験中の大学院　**キングス・カレッジ・ロンドン（KCL）、ロンドンスクールオブエコノミクス（LSE）**

鈴木 悠仁　総合政策学部 総合政策学科（派遣時3年 2022年9月卒業）

留学期間　2021年9月～2022年6月

派遣先大学　キングス・カレッジ・ロンドン（KCL）（英国）

遡及進級の有無およびその理由　遡及進級を ☑した ☐しなかった

卒業を遅らせる理由がなかったため

いつ大学院受験に向けて準備を始めましたか？ 留学中にはどのような準備をしましたか	4年前期（10月）より、教授への推薦状のお願いや志望理由書の準備を開始し、11月後半から12月前半にかけてアプリケーションを終わらせる。12月後半にはKCLより条件付き入学（Conditional Offer）をいただく。
大学院への進学を決意するにあたって、留学がもたらした良い影響を教えてください	応募をした大学院が留学先と同じ大学、またはロンドンにて訪問したことのある大学であったので、3年時にKCLへ留学した経験は大学院進学を進めていくうえで非常に役に立ったと考えます。まず、理由の一つに英国ロンドンにおいて1年間の生活、そして現地の大学機関において実際の留学経験をできた点があります。大学院進学先と同じ土地での生活と勉学は、その後のアカデミックキャリアプランを立てていくうえでより良いイメージができるとともに、自分がその地に適合できるかを判断するうえでこのうえない準備・経験であるといえます。 また、留学を通じて自分が特化していきたいアカデミックフィールドの知識と専門的な見識を得ることができたのは非常に大きなメリットであったと感じます。特に、安全保障・国際関係学を学ぶ自分にとって、戦争学（War Studies）を留学先で専攻し、国際秩序、帝国論、インテリジェンス、海洋安全保障についての理解を深められたことは大学院進学への準備においても非常に有利になりました。さらに、KCLで教鞭をとっていただいた教授やPhD生の方達と親交を深められたり、学内・学外において新たな一生の友人を得られたことも、英国への大学院進学を決心する大きな後押しとなりました。
留学が大学院受験に不利に働いたと思った点はありますか。またそれをどのように克服しましたか。どのように両立をしましたか	留学自体が大学院進学にマイナスに働いた点は特にはありません。ただ、留学先大学と慶應との単位交換の面で不便はありました。英国でのカリキュラムと慶應の単位取得システムはかなり異なるので、留学先にてフルクレジットを取得しても慶應では8～12単位程しか交換できないため、帰国した4年時において授業・単位取得といった面でかなりの学業的負担がありました。なので、大学院進学・もしくは就職を視野に入れている方は、派遣先大学との単位交換の仕組みをあらかじめ把握しておく必要があると思います。

以前から英国の大学にて安全保障・国際関係学を学びたかった自分にとって、キングス・カレッジ・ロンドン（KCL）戦争学部での1年間の留学経験は自分の人生においてかけがえのないものであると確信しています。ロンドンという世界有数の多文化都市、かつそのど真ん中に位置するKCLストランドキャンパスにおいて、英国屈指の安全保障・戦争学のスペシャリストから国際秩序、帝国論、インテリジェンス、海洋安全保障等のフィールドについてのレクチャーとセミナー講義を受けられたことは、大学院にて安全保障をより深く、専門的に学んでいこうと決心をするに至りました。
特に、さまざまなバックグラウンドの出自を持つ学生と親交を深め、かけがえのない親友となれたことや、ディプロマシーソサイエティ等のクラブ活動を通じてグローバルな人脈を作れたことは、今回の留学における最大の宝物であるといえるのではないでしょうか。そしてこのようなかけがえのない友人と勉学にはげみながら、かつ日本とは全く異なる環境において作れるという点は交換留学でしかなしえない経験です。
もちろん、留学においては楽しいことばかりではなく、インフレに伴う財布との相談や、寮の食事への適合、膨大な量の課題をこなすなどチャレンジングな面もあります。しかし、これらの困難でさえ楽しみの一部、そして自己成長の糧となります。

ブリュッセルへの旅行時▶

▲ディプロマシーソサイエティのボールパーティー

▲深夜のチャイナタウンにて大学の友人と

後輩へのアドバイス

コロナ禍から移行し対面での生活・勉学ができるようになった今こそ塾生の皆さんは留学に行くべきだと思います。慶應の学費のみで海外の大学にて専門的な勉学、そして新たな親友と気づきを得られることはあなたにとってかけがえのない経験となることは間違いなしです！